

(25)

氏名(生年月日)	小 野 由 子
本 籍	
学 位 の 種 類	医学博士
学位授与の番号	乙第627号
学位授与の日付	昭和58年9月16日
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	閉塞性脳血管障害における予後と副行路形成および再開通
論文審査委員	(主査)教授 重田 帝子 (副査)教授 喜多村孝一, 教授 串田つゆ香

論 文 内 容 の 要 旨

緒言

コンピューター断層(CT)の出現により, 脳梗塞巣がX線吸収値の違いとして実際に肉眼的にとらえられるようになった。しかし, 場合によってはCT上の異常吸収域を示さぬ complete stroke もあり, 血管撮影上の閉塞血管の支配領域の範囲とCT上の異常吸収域の範囲が一致しないこともしばしば経験される。これらは, 血管閉塞後におこる閉塞血管領域への再開通あるいは副行路形成などの血液の供給の状態が最終的な梗塞巣完成に深く係わるものであることを考えさせ, 閉塞性脳血管障害の予後はこれらに大きく影響を受けると考えられる。以上のことより,

1) 閉塞性脳血管障害例のCT上の低吸収域の有無およびその大きさと予後との関係,

2) 閉塞血管支配領域内で, 閉塞血管の再開通および副行路形成がCT上の低吸収域の広がりを与える影響と, それらの時間的關係について検討した。

対象および方法

1) 発症後早期より, ほぼ完全に全経過を観察し得た中大脳動脈領域の脳梗塞例100例について, CT上で固定した低吸収域の大きさ(4段階に分ける)と社会復帰の面よりみた予後(6段階に分ける)との対比を行なった。

2) 発症後早期よりCTで経過を観察することができ, 閉塞血管および予想され得るあらゆる副行路を観察するに十分な血管撮影が施行された, 内頸動脈領域の脳梗塞例186例について, CT上の低吸収域の広がり, 同部位および他部位の血管撮影上の動脈影の有無

について, 時間的要素を考慮に入れて比較した。CTと血管撮影両者の対比にあたっては, 血管撮影上の再開通あるいは副行路の状態を, 血管閉塞のあるもの(94例), 発症の原因となったと考えられる血管の狭窄のあるもの(24例), および閉塞部位不明なもの(68例)の3群に分けた。

結果およびまとめ

1) 脳梗塞におけるCT上の低吸収域の広がり和社会復帰の面よりみた予後との対比では, 低吸収域が小さいものほど予後の良い傾向にあった。

2) CT上の低吸収域と血管撮影像との対比では,

a) CT上の低吸収域は閉塞血管の支配領域内に出現する。血管撮影上, 副行路あるいは閉塞血管の再開通とともに認められない場合にはCT上の低吸収域出現をまぬがれない。

b) 発症6時間以降の再開通あるいは副行路形成は脳梗塞完成回避の要素とはなり得ないと言われるが, 閉塞血管支配領域における発症6時間以降の血管撮影上の再開通あるいは副行路形成も最終的なCT上の低吸収域出現の回避に影響を与え得る。

c) 梗塞巣完成に影響し得る, すなわちCT上の低吸収域回避に影響し得る再開通あるいは副行路形成の時間的限界は, 症例によっても異なるが, 発症24~72時間の間にあると推定される。

d) 発症73時間以後の血流再開はCT上の梗塞巣の範囲に影響を与えない。

以上の結論が得られた。

論文審査の要旨

本研究は閉塞性脳血管障害において、CT上の最終的梗塞巣の大きさと予後との比較、さらに、血管撮影によって、閉塞血管の再開通あるいは副行路がCT上の梗塞巣に影響を与え得る時間的限界について検討し、梗塞巣が小さいものほど予後がよいこと、また、梗塞巣への血流再開の影響しうる時間的限界は従来考えられていた6時間よりはるかに長い発症24時間から72時間の間にあることを確認した、学術上きわめて価値ある研究と認める。

主論文公表誌

閉塞性脳血管障害における予後と副行路形成および再開通

日本医学放射線学会雑誌 第42巻 第9号
861～873頁（1982年9月25日発行）

副論文公表誌

1) EMI Scanner の原理と実際
—450例の経験—

臨床放射線 21 (2) 147～162 (1976)

2) 放射線脊髄炎のガスミエログラフィー

臨床放射線 23 (3) 375～380 (1978)

3) Cerebral venous angioma—Clinical evaluation and possible etiology—(脳静脈血管腫—臨床的評価と考えられる原因論)

Radiology 139 (1) 87～94 (1981)

4) Metrizamide (Amipaque) myelography (メトリザマイド (アミパーク) 脊髄撮影)

臨床整形外科 16 (7) 673～680 (1981)

5) Cisternography of the posterior fossa with metrizamide (メトリザマイドによる後頭蓋窩脳槽撮影)

Radiology 141 (3) 819～821 (1981)